

## 日本地震工学会・大会-2019 全体プログラム

場所：京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウムホール

9月19日(木)		9月20日(金)	
9:50	<b>オープニングセッション</b> 司会：五十嵐晃（京都大学） 会長挨拶 中埜良昭（東京大学） 基調講演 風間基樹（東北大学） 「液状化研究の課題-A Gap between Science and Engineering-」 招待講演 橋本学（京都大学） 「南海トラフ巨大地震を哲学する」	9:40	<b>国際セッション</b> （口頭発表） 講演： ・ Jiyuan Shi (Saitama University) ・ S M Naheed Adnan (The University of Tokyo)
11:00	休憩	10:10	休憩
11:10	<b>ポスターセッション(1)</b> P1-01 ~ P1-32	10:20	<b>横断セッションB</b> 「第17回世界地震工学会議(17WCEE)の成功を目指して」 コーディネータ：中埜良昭（東京大学） 講演： ・ 目黒公郎（東京大学） ・ 高田毅士（東京大学） ・ 小檜山雅之（慶応義塾大学）
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	<b>特別講演</b> 野波健蔵（日本ドローンコンソーシアム） 「災害対応小型無人航空機（ドローン）の動向と実用および展望」	13:00	<b>一般セッション(2)</b> （口頭発表） 講演： ・ 廣瀬榛名（大林組技術研究所） ・ 朝比奈諒（東京理科大学） ・ 山崎義弘（建築研究所） ・ 高平友博（東京理科大学） ・ 上段聖也（名古屋大学） ・ 影本直也（京都大学）
13:50	休憩	14:30	休憩
14:00	<b>一般セッション(1)</b> （口頭発表） 講演： ・ 安田進（東京電機大学） ・ 三辻和弥（山形大学） ・ 翠川三郎（東京工業大学） ・ 松本俊明（篠塚研究所） ・ 河合伸一（防災科学技術研究所） ・ 中村洋光（防災科学技術研究所）	14:40	<b>ポスターセッション(2)</b> P2-01 ~ P2-33
15:30	休憩	15:30	休憩
15:40	<b>横断セッションA</b> 「最先端のシミュレーション技術による地震防災研究-防災科学技術研究所・数値震動台プロジェクトの成果と今後の発展-」 コーディネータ：大崎純（京都大学） 講演： ・ 大崎 純（京都大学） ・ 小檜山雅之（慶応義塾大学） ・ 磯部大吾郎（筑波大学） ・ 山下拓三（防災科学技術研究所） ・ 藤原 淳（防災科学技術研究所）	15:40	<b>横断セッションC</b> 「各種構造物の津波荷重の評価技術と体系化-『津波荷重のこころえ』の確立を目指して-」 コーディネータ：有川太郎（中央大学） 講演： ・ 松富英夫（中央大学） ・ 大家隆行（パシフィックコンサルタンツ） ・ 奥田泰雄（建築研究所） ・ 木原直人（電力中央研究所） ・ 浅井竜也（名古屋大学）
17:20	<b>優秀発表賞 表彰式①</b>	17:20	<b>優秀発表賞 表彰式②</b>
17:30	移動・休憩	17:30	終了
18:00	<b>交流会</b> 国際科学イノベーション棟 ラウンジ		
20:00	終了		

## 日本地震学会・日本地震工学会合同セッション プログラム概要

場所：京都大学百周年時計台記念館大ホール

9月18日(水)			
9:15	<b>特別合同セッション</b> 「長周期地震動-その生成から構造物の応答、社会の対応まで-」 コンビナー：青井真（防災科学技術研究所）・久田嘉章（工学院大学）・岡本國徳（気象庁） 講演： ・ 福和伸夫（名古屋大学）[招待講演] ・ 大保直人（地震予知総合研究振興会） ・ 村田将一（東京理科大学） ほかに全10題	14:30	<b>合同パネルディスカッション</b> 「南海トラフ巨大地震」 コーディネータ：松島信一（京都大学） <b>基調講演</b> ・ 山岡耕春（日本地震学会会長） ・ 中埜良昭（日本地震工学会会長） <b>話題提供・討論</b> ・ 堀高峰（JAMSTEC） ・ 井出哲（東京大学） ・ 三宅弘恵（東京大学） ・ 馬場俊孝（徳島大学） ・ 護雅史（名古屋大学） ・ 奥村与志弘（関西大学）
12:00	昼食		
13:00	<b>ポスターセッション</b> S21P-01 ~ S21P-14	18:00	終了

**基調講演 9/19 10:00～10:30**

**「液状化研究の課題—A Gap between Science and Engineering—」  
風間基樹（東北大学）**

**招待講演 9/19 10:30～11:00**

**「南海トラフ巨大地震を哲学する」  
橋本学（京都大学）**

**特別講演 9/19 13:00～13:50**

**「災害対応小型無人航空機（ドローン）の動向と実応用および展望」  
野波健蔵（日本ドローンコンソーシアム）**

## 横断セッションA 9/19 15:40~17:20

「最先端のシミュレーション技術による地震防災研究－防災科学技術研究所・数値震動台プロジェクトの成果と今後の発展－」

コーディネータ：大崎純（京都大学）

番号	題目	著者
A-1	数値震動台の概要と建築骨組の詳細有限要素解析	大崎 純（京都大学）
A-2	建築構造シミュレーションと深層学習を用いた構造ヘルスマonitoring	小檜山 雅之（慶應義塾大学）
A-3	室内被害シミュレーションの高度化研究	磯部 大吾郎（筑波大学）
A-4	地震対応力向上を実現する都市 Cyber-Physical-System の提案と数値震動台の活用	山下 拓三（防災科学技術研究所）
A-5	数値震動台のプリ・ポスト開発	藤原 淳（防災科学技術研究所）

## 横断セッションB 9/20 10:20~12:00

「第17回世界地震工学会議（17WCEE）の成功を目指して」

コーディネータ：中埜良昭（東京大学）

番号	題目	講演者
B-1	17WCEE 全体プログラムと準備状況	目黒 公郎（東京大学）
B-2	17WCEE 学術プログラムの全体	高田 毅士（東京大学）
B-3	若手 Brainstorming Session について	小檜山 雅之（慶應義塾大学）

## 横断セッションC 9/20 15:40~17:20

「各種構造物の津波荷重の評価技術と体系化－『津波荷重のころえ』の確立を目指して－」

コーディネータ：有川太郎（中央大学）

番号	題目	講演者
C-1	津波荷重評価における留意点	松富 英夫（秋田大学・中央大学研究開発機構）
C-2	土木構造物に対する津波波圧評価	大家 隆行（パシフィックコンサルタンツ）
C-3	建築構造物に対する津波波圧評価	奥田 泰雄（建築研究所）
C-4	土木構造物に対する漂流物評価	木原 直人（電力中央研究所）
C-5	建築構造物に対する漂流物評価	浅井 竜也（名古屋大学）

一般セッション(1) 9/19 14:00~15:30

コーディネータ：川辺秀憲（大阪大学），高橋良和（京都大学）

番号	題目	著者
0-1	山形県沖の地震による地盤関係の被害の調査	安田進(東京電機大学), 横田聖哉, 竹本将, 久田裕史
0-2	2019年6月18日山形県沖の地震の初動調査と地盤の常時微動観測	三辻和弥(山形大学), 大野晋
0-3	航空写真から判読した2018年北海道胆振東部地震での墓石の転倒率分布	翠川三郎(東京工業大学)
0-4	需要電力の集約化モデルを用いた電力供給の地震時負荷遮断の評価	松本俊明(篠塚研究所), 植竹富一, 色摩康弘, 中村孝明
0-5	南海トラフの多様なシナリオ地震による間接被害の試算	河合伸一(防災科学技術研究所), 中村洋光, 藤原広行, 清水智, 小丸安史, 時実良典, 山崎雅人
0-6	地震・津波による経済被害予測のための全国を対象とした産業別民間企業資本ストックデータの試作	中村洋光(防災科学技術研究所), 藤原広行, 高橋郁夫, 清水智, 山崎雅人

国際セッション 9/20 9:40~10:10

コーディネータ：高橋良和（京都大学）

番号	題目	著者
I-1	DETECTION OF RUBBER BEARING USING IMAGES FROM UAVS BASED ON FULLY CONVOLUTIONAL NETWORK	Jiyuan Shi (Saitama University), Rongzhi Zuo, Ji Dang
I-2	BEHAVIOR OF RC FRAME WITH LOW STRENGTH CONCRETE AND STRAIGHT ANCHORAGE UNDER EXTREMELY HIGH AXIAL LOADS	S M Naheed ADNAN (The University of Tokyo), Yuji HAGA, Kazuto MATSUKAWA, Yoshiaki NAKANO

一般セッション(2) 9/20 13:00~14:30

コーディネータ：向井洋一（神戸大学）

番号	題目	著者
02-1	軸力依存する杭の曲げ変形特性に着目した群杭フレーム応答変位法による杭応力評価	廣瀬榛名(大林組), 勝二理智, 藤森健史
02-2	常時微動・人力加振および強震観測に基づく超高層RC造建物の曲げ変形を伴う振動特性	朝比奈諒(東京理科大学), 飛田喜則, 王欣, 永野正行
02-3	繰り返し地震動を受ける木造耐力壁構造の性能劣化挙動	山崎義弘(建築研究所), 神田健吾, 坂田弘安
02-4	傾斜基盤を有する地盤上に建つ免震建物の震動特性と揺れ挙動に着目した非免震建物との応答比較	高平友博(東京理科大学), 飛田喜則, 西浦遼, 王欣, 永野正行
02-5	3層木造住宅の外構面下層切り出し試験体に対する性能検証	上段聖也(名古屋大学), 長江拓也, 高橋武宏, 井上貴仁
02-6	高減衰ゴム支承の減衰特性と免震橋の最大地震応答の関係について	影本直也(京都大学), 五十嵐晃, 中村保之, 山崎信宏

ポスターセッション(1) 9/19 11:10~12:00(コアタイム)

番号	題目	著者
P1-1	アジョイント法を用いた地下構造モデルの最適化に関する基本的検討	阿部大希(東北大学), 大野晋
P1-2	強震動を用いた地震波干渉法による下総地域の S 波速度構造モデルのチューニング	地元孝輔(東京工業大学), 山中浩明
P1-3	2016 年熊本地震の断層近傍の強震観測点でのアレイ微動観測による表層地盤調査	津野靖士(鉄道総合技術研究所), 翠川三郎, 是永将宏
P1-4	地震観測記録を用いた波形インバージョンによる関東平野の深部地盤の二次元 S 波速度構造推定	笠松健太郎(東京工業大学), 山中浩明, 酒井慎一
P1-5	コロッセオ(ローマ)のコモド通路における常時微動を用いた CERS 法による波動伝播速度他の測定	中村豊(システムアンドデータリサーチ), 齋田淳, 佐藤勉
P1-6	グルノーブル盆地における微動と地震動の水平上下スペクトル比に関する検討	伊藤恵理(京都大学), 川瀬博, Cecile Cornou, 長嶋史明
P1-7	地震動の拡散波動場理論に基づく地震基盤入射波の推定とその適用限界	長嶋史明(京都大学), 川瀬博
P1-8	常時微動記録に見られる隣接地点間の空間変動特性	徳光亮一(大成建設), 青木雅嗣, 五十嵐さやか, 内山泰生, 大野晋
P1-9	解放基盤における地震動の経験的経時特性モデル	佐藤智美(清水建設), 岡崎敦
P1-10	統計的グリーン関数法における要素地震波の巻き込み正規分布を用いた位相類似性モデル	横山春果(慶應義塾大学), 小檜山雅之
P1-11	S 波のサイト増幅特性を地震動の水平上下比 EHVR から直接推定する方法	川瀬博(京都大学), 伊藤恵理, 仲野健一
P1-12	MeSO-net 地中観測点と K-NET 及び KiK-net 地表観測点の地盤増幅率	中村亮一(東京大学), 酒井慎一, 鶴岡弘, 加藤愛太郎, 平田直, 椎名高裕
P1-13	機械学習を活用した地震動評価による新たな知見獲得への試み	石井透(清水建設), 小穴温子, 和田健介
P1-14	粒子構造と粒子形状が液状化強度と損失エネルギーに及ぼす影響 —SCP 工法による改良効果の視点から—	江副哲(不動テトラ), 原田健二, 矢部浩史, 出野智之, 日下部真佑
P1-15	微動測定に基づく損傷建物の大梁軸変形の周波数特性	栗田哲(東京理科大学), 岡田大輝, 源栄正人, 三辻和弥
P1-16	柱 RC 梁 S 造の倉庫建築物における積載物の滑動による付加等価減衰定数	今田拓実(金沢工業大学), 山岸邦彰
P1-17	変断面柱を用いた埋込型柱脚を有する鋼構造梁降伏型剛接骨組の損傷分布	柳田佳伸(青木あすなる建設)
P1-18	耐震補強鉄骨部材の微動ひずみ応答計測	福田知広(東京大学), 伊山潤, 福島佳浩, 坪井洸太
P1-19	突起付き鋳鉄製プレート圧着接合法を用いたコンクリート系構造物へのダンパーの取り付けに関する実験研究	毎田悠承(国土技術政策総合研究所), 坂田弘安, 島崎和司, 和泉信之, 竹中啓之, 渡辺亨, 佐伯英一郎, 洪田敬一郎
P1-20	梁の塑性変形能力に及ぼす一様伸びおよび降伏比の影響	三木徳人(国土技術政策総合研究所), 小高弘慎, 山田哲, 吉敷祥一

ポスターセッション(1) 9/19 11:10~12:00(コアタイム)

番号	題目	著者
P1-21	鉄筋コンクリート梁部材のかぶりコンクリート圧壊時の変形性能評価法	胡文靖(首都大学東京), 北山和宏
P1-22	高強度主筋を用いた鉄筋コンクリート造骨組の地震応答解析	久家範之(東京大学), 塩原等
P1-23	実大 10 階建て鉄筋コンクリート造建物の 3 次元震動台実験による外装関連部材の挙動の検証	田附遼太(長谷エコーポレーション), 井上雅之, 姜在道, 梶原浩一
P1-24	隣接コンクリート構造物間を渡る配管の設計合理化検討	栗林俊之(中部電力), 吉田崇志, 山田和幸, 渡邊華
P1-25	偏心率及び床剛性を考慮した木質系混構造建築物の振動性状及び構造安全性評価に関する研究	福田拓郎(明治大学), 宮本陽子, 梶川久光
P1-26	基礎梁の剛性を考慮した建築物の応答予測に関する考察	道下友哉(金沢工業大学), 宮坂博信, 山岸邦彰
P1-27	Gabor 波入力に対する建物応答の減衰効果	杉野未奈(京都大学), 田中和樹, 林康裕
P1-28	複数規模の地震動に対する都市における建物応答シミュレーション —地震応答解析結果に基づくドア枠および天井の被害予測—	永野康行(兵庫県立大学), 大谷英之
P1-29	断層近傍地震動をモデル化した極限的ダブルインパルスの不整形立体構造物を対象とした最悪入力方向の簡易評価法	小島紘太郎(京都工芸繊維大学), 坂本晴香, 小坂郁夫
P1-30	偏心建物の微動からウィナーフィルタにより推定したグリーン関数とそれを利用した層剛性同定可能性の検討	堀家正則(阪神コンサルタンツ), 羽田浩二
P1-31	等価線形化法に基づく建築物の耐震設計手法に関する一考察	柴田明德(東北大学)
P1-32	減衰性能の壁量への換算法 —観測波における検討—	山田耕司(豊田工業高等専門学校)

ポスターセッション(2) 9/20 14:40~15:30(コアタイム)

番号	題目	著者
P2-1	2014年長野県北部の地震を対象とした地表地震断層近傍における断層変位を含む地震動評価	田中信也(東電設計), 久田嘉章
P2-2	フィリピン海プレートの形状を踏まえた伊予灘周辺の震源特性・不均質減衰構造・サイト増幅特性の推定	友澤裕介(小堀鐸二研究所), 加藤研一, 塩田哲生
P2-3	波形の振幅の統計分布によるP波およびS波の検出方法	大島光貴(清水建設), 竹中博士
P2-4	震源断層近傍の地震動に含まれるステップ・パルス地震動成分の抽出と変位波形の推定法	平井敬(名古屋大学)
P2-5	要素内の破壊伝播効果を考慮した統計的グリーン関数法と三次元差分法による都心南部直下地震の強震動評価	早川崇(清水建設), 小穴温子
P2-6	平成30年大阪府北部の地震の差分法を用いた地震動シミュレーション	川辺秀憲(大阪大学), 西野僚一
P2-7	特性化震源モデルに基づく2016年熊本地震本震時の強震動再現と阿蘇市の長周期地震動評価	貴堂峻至(東京理科大学), 永野正行
P2-8	速度計による強震動観測の可能性: 緊急地震速報の迅速化に向けて	小寺祐貴(気象庁気象研究所), 溜瀨功史
P2-9	2018年大阪府北部の地震におけるOsaka Metro地震計システムの動作と被災地域の震動特性について	佐藤勉(システムアンドデータリサーチ), 中村豊, 齋田淳, 八木義晴
P2-10	構造非線形応答解析を用いた地震被害速報	党紀(埼玉大学), Xinzheng Lu, Chunjin Sun, Qinle Cheng
P2-11	ヘリコプター画像を用いた深層学習による建物被害自動判別モデルの開発	内藤昌平(防災科学技術研究所), 宮田尚史, 友澤弘充, 森悠史, 門馬直一, 中村洋光, 藤原広行
P2-12	近年の地震に伴う出火件数の統計モデリング	大橋響(京都大学), 西野智研
P2-13	災害復旧に供する重要な道路の選定手法の一提案 - 電力の早期復旧を事例に -	浦谷裕明(名古屋大学), 家城篤, 坂上寛之, 倉田和己, 都築充雄
P2-14	2016年熊本地震による防災設備等の被害状況に関するアンケート調査	永尾誠也(京都大学), 西野智研, 鈴木淳一, 川瀬博
P2-15	ダムの地震被害実態に基づく耐震性能の考察と今後の課題	佐藤信光(水資源機構総合技術センター)
P2-16	地下浄水池に連結されたT字形の地中管路の地震時応答の評価	有賀義明(弘前大学)
P2-17	砂地盤と粘土地盤における群杭の杭周地盤ばねの履歴特性	中野尊治(大阪大学), 宮本裕司
P2-18	地震と降雨の作用を受けるため池堤体の変形・破壊に関する模型実験概要	中澤博志(防災科学技術研究所), 石澤友浩, 檀上徹, 澤田豊
P2-19	建物の固有振動がその建物への地盤振動の有効入力へ与える影響	成田修英(戸田建設), 保井美敏, 小阪宏之
P2-20	多質点モデルで求めたロッキング振動時の応答変位について	犬飼瑞郎(国土技術政策総合研究所)

ポスターセッション(2) 9/20 14:40~15:30(コアタイム)

番号	題目	著者
P2-21	建築物の被災度判定計による防災ネットワークの研究 開発 その1 東京都町田市における実証実験の概要 及び計測震度分布	梶川久光(明治大学), 岡田由佳, 白井亮太郎, 三津橋歩
P2-22	建築物の被災度判定計による防災ネットワークの研究 開発 その2 入力加速度軌跡図に関する検証	岡田由佳(ミサワホーム), 梶川久光, 白井亮太 朗, 三津橋歩
P2-23	建築物の被災度判定計による防災ネットワークの研究 開発 その3 Sa-Sd 曲線に関する検証	白井亮太郎(明治大学), 梶川久光, 岡田由佳, 三津橋歩
P2-24	積層ゴムの破断を考慮した免震構造物の応答特性	秋葉雄太(東京理科大学), 金澤健司, 梅津和明, 栗田哲
P2-25	デュアル・リアルタイムハイブリッド実験と非線形免 震構造におけるセミアクティブ制御の有効性	本間葵衣(神戸大学), 伊藤麻衣, 向井洋一, 藤 谷秀雄
P2-26	2次元・3次元振動台を用いた中間層免震建物の免震 支承に生じる引き抜き地震応答量に関する実験的研究 ー中間層免震建物振動モデルの免震支承に生じる引き抜 き変位に着目してー	池田雄一(高知工業高等専門学校)
P2-27	想定南海トラフ地震を受けるサンドイッチ免震構造物 の耐震安全性の検討について	中川肇(明石工業高等専門学校)
P2-28	免震構造用球面摩擦滑り支承の動的載荷実験	山田 哲(東京工業大学), 李 家熙, 吉敷祥一, 石田孝徳, 山崎伸介, 蓑和健太郎, 渡辺厚, 山 口路夫
P2-29	「摩擦ダンパー」を設置した既設橋梁の制震化の効果 に関する検討	山崎彬(青木あすなろ建設), 波田雅也, 藤本和 久, 牛島栄, 松原拓朗, 山本一貴
P2-30	ばね式免震制動装置の履歴モデル検証実験	諸沢柁治(青木あすなろ建設), 新井佑一郎, 柳 田佳伸, 石鍋雄一郎
P2-31	遠隔地地震波形情報とAIを用いた高性能なアクティブ 振動制御	平元和彦(新潟大学), 松岡太一
P2-32	振動台によるAMDのリアルタイム・ハイブリッド実 験システムに関する研究	伏原小裕(神戸大学), 横山綾香, 内田小百合, 向井洋一
P2-33	建物のシステム同定における部分空間法の近接モード への適用性に関する基礎的検討	島谷歩汰(東北大学), 大野晋



# 日本地震学会・日本地震工学会合同セッション

特別合同セッション 9/18 9:15~12:00

コンビーナ：青井真(防災科学技術研究所)，久田嘉章(工学院大学)，  
岡本國徳(気象庁)

番号	題目	著者
S21-01	長周期地震動と地震工学	福和伸夫(名古屋大学)
S21-02	海溝型地震による長周期地震動のハザードリスク評価	前田宜浩(防災科学技術研究所)，岩城麻子，森川信之，青井真，藤原広行
S21-03	地殻地震の地表断層近傍における長周期地震動の評価方法	入倉孝次郎(愛知工業大学)，倉橋奨，松元康広
S21-04	データ同化に基づく南海トラフの地震の長周期地震動即時予測—海域観測点のサイト増幅の影響	大峽充己(東京大学)，古村孝志，前田拓人
S21-05	気象庁の長周期地震動への取り組みと今後について	中村雅基(気象庁)
10:30~10:45 休憩		
S21-06	長周期地震動の即時予測の実用化に向けて	青井真(防災科学技術研究所)，木村武志，功刀卓，鈴木亘，Dhakal Yadab，古謝植之
S21-07	リアルタイムスロッシング評価システムが捉えた長周期地震動	大保直人(地震予知総合研究振興会)，高田史俊
S21-08	長周期地震動を考慮した超高層建築の応答・被害予測と対応支援システムの開発	久田嘉章(工学院大学)，村上正浩，栗山章，松本唯，宮内佑也
S21-09	近年発生した大地震時の強震記録に基づく国内の超高層集合住宅を対象とした広域的な非線形地震応答推定	村田将一(東京理科大学)，王欣，永野正行
S21-10	長周期地震動情報をテレビで伝える悩み	谷原和憲(日本テレビ放送網)

ポスターセッション 9/18 13:00~14:30

番号	題目	著者
S21P-01	断層近傍の長周期地震動	瀨瀬一起(東京大学)
S21P-02	海溝型超巨大地震の長周期地震動評価のための特性化震源モデルにおける破壊不均質性	岩城麻子(防災科学技術研究所), 前田宜浩, 森川信之, 藤原広行
S21P-03	長周期地震動振幅の短距離間空間較差の発生要因の理解と簡易的予測に向けた数値実験による予備的検討(その3)	畑山健(消防庁消防研究センター)
S21P-04	A preliminary analysis of long-period response spectra (1-10s) at S-net for the 2016 Mj7.4 off Fukushima earthquake	ダカール ヤダーブプラサード(防災科学技術研究所), 鈴木亘, 木村武志, 功刀卓, 青井真
S21P-05	東京湾岸で観測された2016年三重県南東沖地震の長周期地震動	植竹富一(東京電力ホールディングス)
S21P-06	相反定理を用いた関東平野における長周期地震動の震源位置による変動評価	寺島芳洋(竹中工務店), 福和伸夫
S21P-07	関東平野の堆積層における長周期成分のQ値推定	吉田治雄(竹中工務店), 佐藤吉之
S21P-08	2018年大阪府北部の地震時の浅部・深部地盤を考慮した三次元解析とKiK-net此花で観測された特異な後続波群の分析	片岡卓也(東京理科大学), 永野正行
S21P-09	鳥取県境港市で観測されるやや長周期地震動	香川敬生(鳥取大学), 吉田昌平, 野口竜也
S21P-10	地層不整形性に起因した地震被害の局所化・甚大化メカニズムの解明~2016年熊本地震による阿蘇カルデラの陥没被害を例に~	中井健太郎(名古屋大学), 野田利弘, 福田慎也, 村尾英彦, 浅岡顕
S21P-11	3D velocity model of the Bogota basin (Colombia) based on dense microtremors arrays measurements, gravity, and geological data	Nelson Pulido(NIED), Helber Garcia, Andrea Riaño, Shigeki Senna
S21P-12	DASと既存の光ファイバーケーブルを用いた長大構造物のモニタリングと長周期地震動の観測	木村恒久(シュルンベルジェ)
S21P-13	貯蔵タンクのスロッシングによる液面上昇量の観点からみた既往3地震における長周期地震動の特徴	山本鐘太(筑波大学), 庄司学
S21P-14	長周期地震動の予測情報に関する実証実験への取り組みー高層ビルごとの周期別階級表示ツール開発ー	若目田美冴(エイツー), 加地正明, 川野翼, 久田嘉章, 村上正浩